河　川　関　係

天満（てんまん）・永昌（えいしょう）地区水辺整備事業【直轄】

継続　河川－10

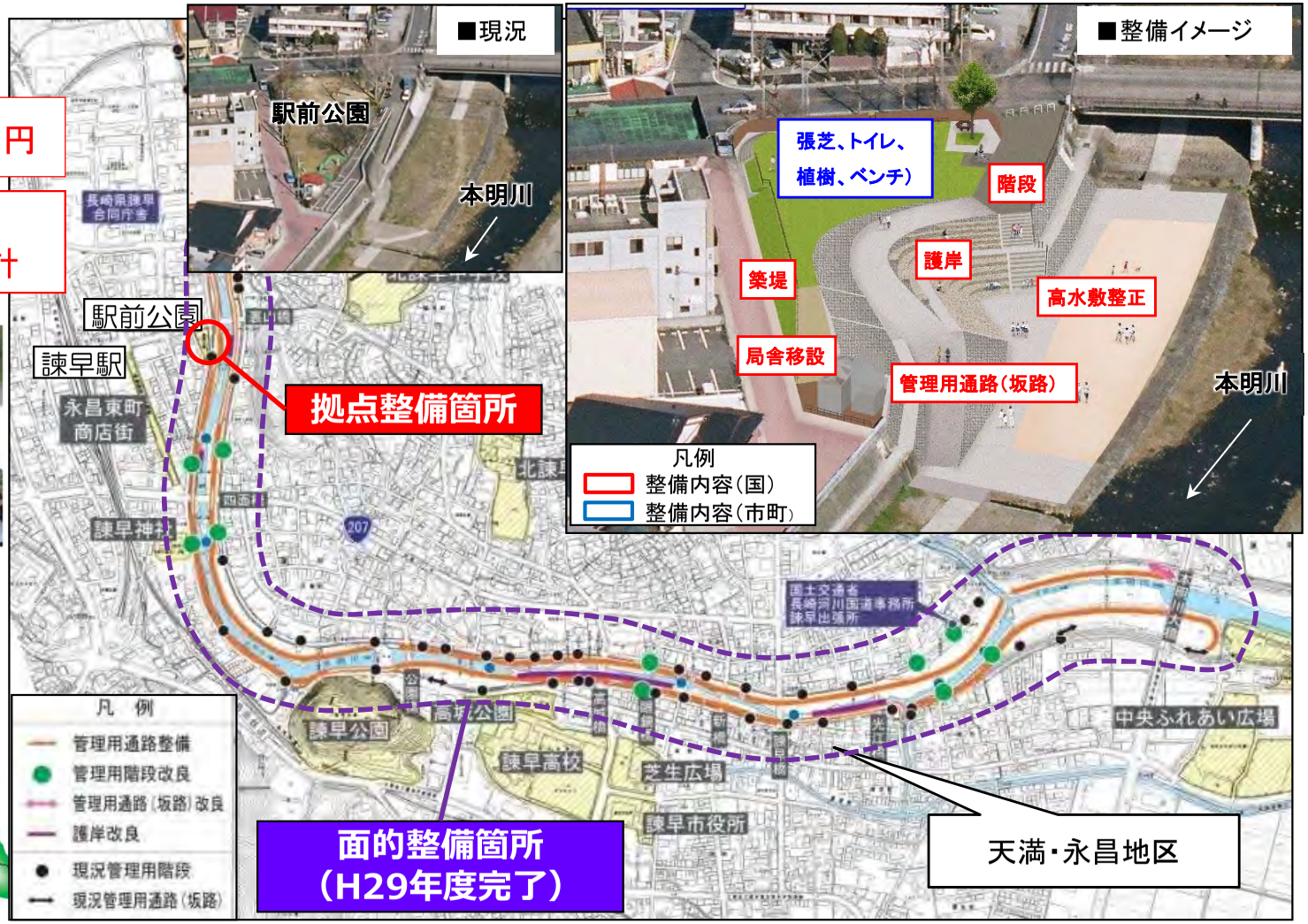
○ 令和4年度新幹線諫早駅開業に向け、管理用通路の整備も含め、諫早駅周辺整備等の新幹線開業効果を最大限に引き出すための様々な取り組みが行われている。「駅前公園」は諫早駅利用者等を本明川へ導く玄関口として期待されており、「本明川」と一体となった新たな賑わいの拠点整備のニーズが高まっている

○ 天満・永昌地区では令和2年3月にかわまちづくり計画が変更登録され、駅前公園の立地を活かした、新たな賑わいの拠点整備が追加された。国土交通省においては、河川利用上の安全性等を向上させるため、管理用通路等の整備を実施する。

事業箇所

事業費：１６百万円

令和3年度
実施内容：詳細設計



本明川ダム建設事業【直轄】

継続 | 河川－11

■事業概要

○場　所　長崎県諫早市（本明川水系本明川）

○目　的　洪水調節
　　流水の正常な機能の維持

○諸　元　堤高：約55.5m　総貯水容量：約6,200千m³

○経　緯　平成2年度　実施計画調査着手
　　平成6年度　建設事業着手

○事業効果 ダムによる洪水調節を行い、本明川ダム下流域の治水安全度の向上を図る。また、下流河川の環境を維持するための水量を確保し渇水被害の軽減を図る。

◆洪水被害と渇水被害の軽減を図るダム

■令和3年度実施内容

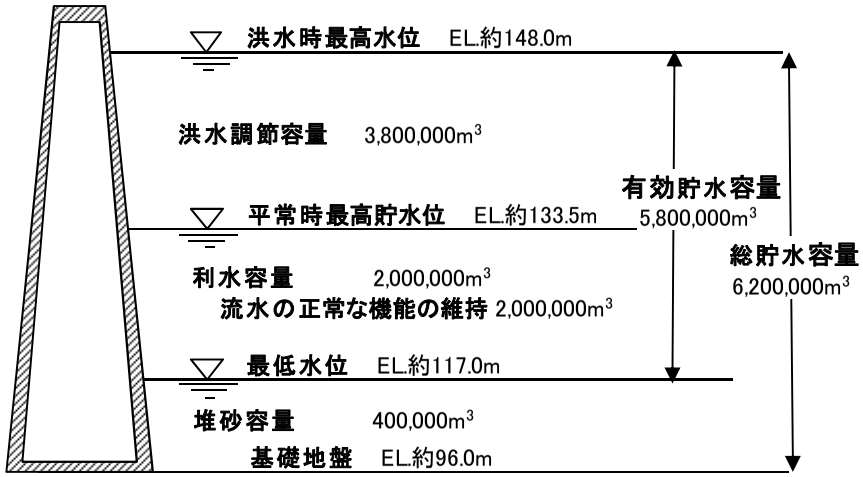
付替道路工事、用地補償、
本体関連の調査・測量・設計　等

事業費：4,858百万円

本明川ダム完成イメージ

位置図

諸元



雲仙・普賢岳直轄砂防管理

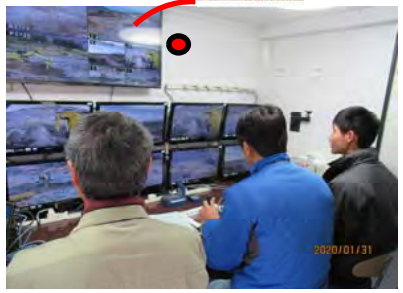
継続 | 河川－12

■雲仙・普賢岳直轄砂防管理（島原市、南島原市）

○雲仙・普賢岳は、平成2年11月に噴火活動を再開し、噴火に伴う火砕流や土石流によって甚大な被害が発生。現在でも大量に土砂が堆積し、毎年のように土石流が発生している。また、山頂付近には溶岩ドームと呼ばれる巨大な岩塊群が形成され、崩落等の危険性が懸念されることから依然として警戒区域が設定されている。

○このため、除石や砂防施設修繕は無人化施工による高度な技術を用いて、管理を行う必要がある。

雲仙・普賢岳山麓の水無川流域の特殊性



無人化施工操作室

赤松谷川上流で発生した土石流（H27年6月）

令和３年度
実施内容：除石工等

管理費：942百万円

砂防管理実施区域

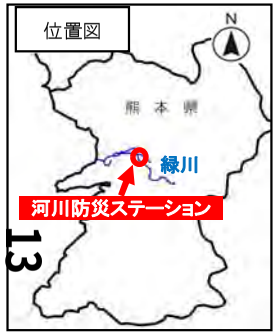
船津地区河川防災ステーション整備事業【直轄】

新規　河川－13

■緑川では、平成19年7月洪水で家屋等の浸水被害が発生。災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材を事前に備蓄し、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するために、「河川防災ステーション」の整備を、甲佐町と連携して実施する。

■「河川防災ステーション」を整備することで、迅速な復旧活動や広域支援が可能となるほか、平常時には防災学習の拠点や地域の交流・憩いの場等としての活用も図る。

位置図



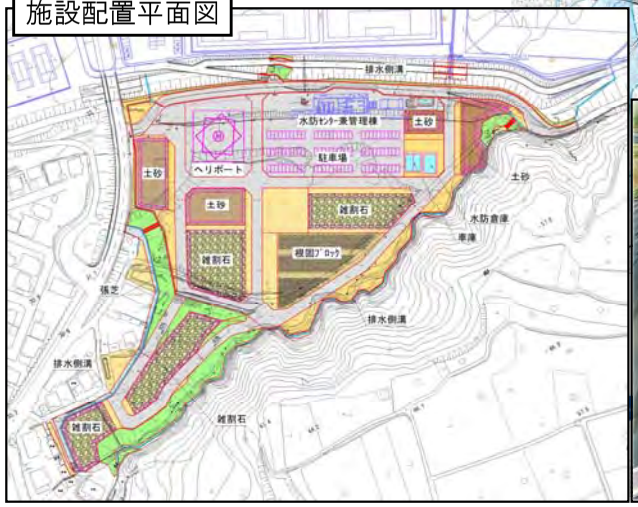
13

河川防災ステーション主な整備メニュー	
事業主体	整備内容
国交省	盛土造成、緊急復旧用資材の備蓄、ヘリポート等
甲佐町	水防センターの設置

事業費：1,562百万円

※緑川水系における直轄河川改修事業の令和3年度事業費を記載しております。

施設配置平面図



活用イメージ（災害時）

菰田橋架替事業【直轄】

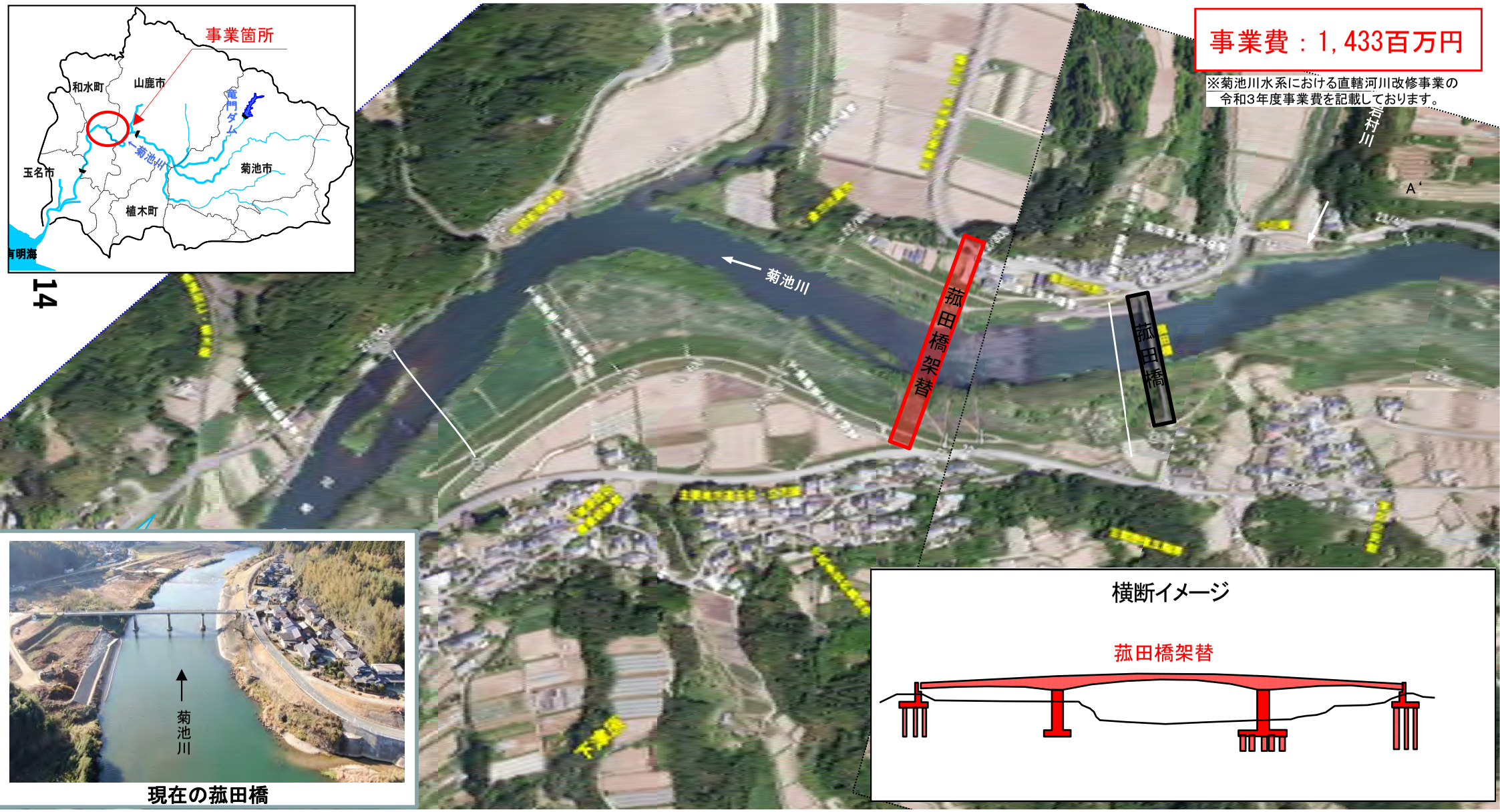
新規　河川－14

■菊池川では、平成24年7月九州北部豪雨等による被害を受け、堰改築、橋梁架替等の河川改修を実施している。

■菊池川中流部においては、狭窄部となっている菰田橋の架替を実施することにより治水安全度の向上を図る。

事業費：1,433百万円

※菊池川水系における直轄河川改修事業の令和3年度事業費を記載しております。



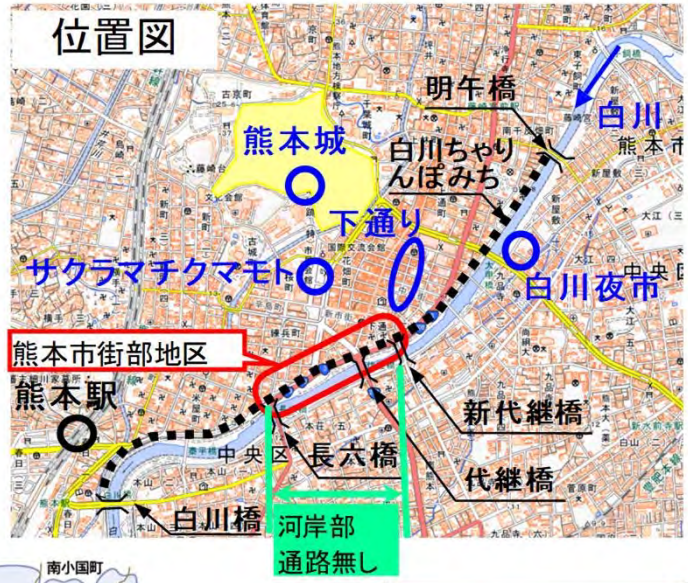
現在の菰田橋

横断イメージ

熊本市街部地区水辺整備事業【直轄】

新規　河川－15

○ 熊本市では、市内の白川沿いに「白川ちゃりんぽみち」（自転車歩行者専用道路）を整備しており、自転車で円滑に通行できる取組を通じて市民や観光客等の移動円滑化を助け、多くの人々で賑わいをみせている。
○ 熊本市街部地区は令和2年3月にかわまちづくり計画が登録され、自転車を活用し市民に親しまれる河川空間及びネットワークを創出し、中心市街部の活性化や観光振興の促進を目指しており、国土交通省において、河川巡視や河川管理の円滑化、河川利用上の安全性等向上させるため、管理用通路等の整備を実施する。



事業費：２２百万円

令和3年度
実施内容：測量設計

木葉川大規模特定河川事業【補助】

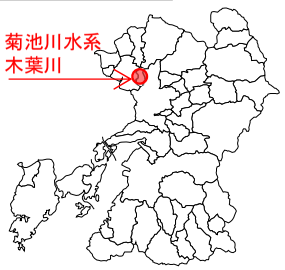
新規　河川－16

■菊地川水系木葉川大規模特定河川事業（玉名郡 玉東町）

菊池川水系木葉川は、玉東町内の住宅密集地を流下しており、平成24年7月の九州北部豪雨による洪水等で甚大な被害が発生した。

このため、大規模特定河川事業によりJR橋架替および河道掘削等を集中的に実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。

位置図



被害状況

平面図

被害概要

	浸水戸数（戸）		
	床下	床上	計
H11.9	51	25	76
H18.6	67	29	96
H24.7	5	16	21

平成 18 年 6 月洪水時の浸水状況

平成 24 年 7 月洪水時の浸水状況

事業実施のイメージ

（橋梁断面）

立野ダム建設事業【直轄】

継続 | 河川－17

■事業概要

○場　所　（右岸）熊本県阿蘇郡南阿蘇村（あそぐん　みなみあそむら）

（左岸）　〃　菊池郡大津町（白川水系白川）（きくちぐん　おおづまち　しらかわ）

○目　的　洪水調節

○諸　元　堤高：約90m　総貯水容量：約10,000千m^3

○経　緯　昭和54年度　実施計画調査着手
　　昭和58年度　建設事業着手

○事業効果　ダムによる洪水調節を行い、立野ダム下流域の治水安全度の向上を図る。

◆洪水被害軽減を図る洪水調節専用のダム

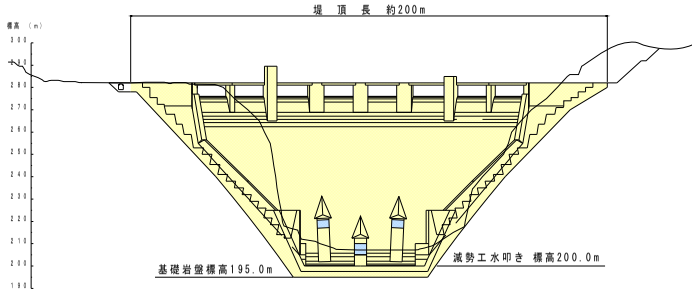
■令和3年度実施内容
本体工事、管理用設備　等

事業費：15,296百万円

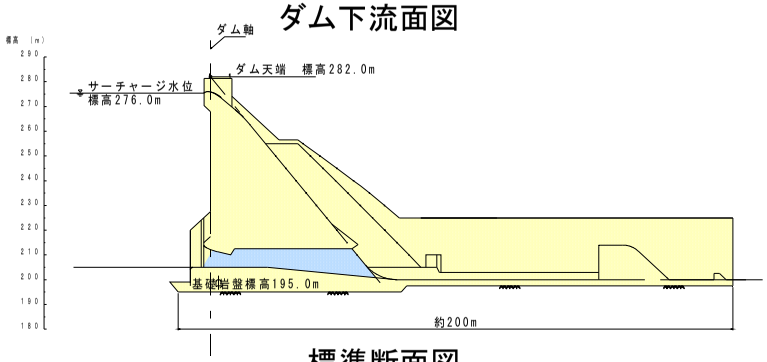
工事状況写真

位置図

立野ダム完成イメージ



ダム下流面図



標準断面図

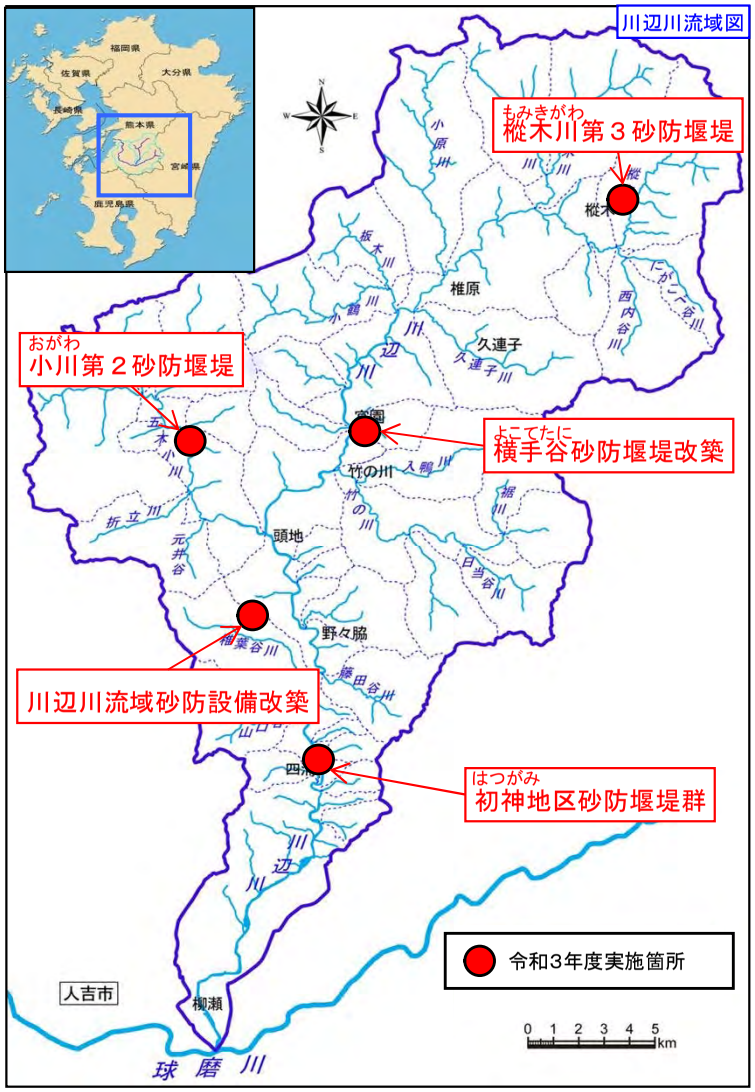
球磨川水系（川辺川）直轄砂防事業

継続　河川－18

■球磨川水系（川辺川）直轄砂防事業（八代市泉町、球磨郡五木村、球磨郡相良村）

○川辺川流域は、急峻な地形、脆弱な地質条件を有しており、多雨地帯でもあることから、これまで頻繁に豪雨により土砂災害を引き起こしており、近年では平成24年に土石流が発生し大きな被害をもたらした。

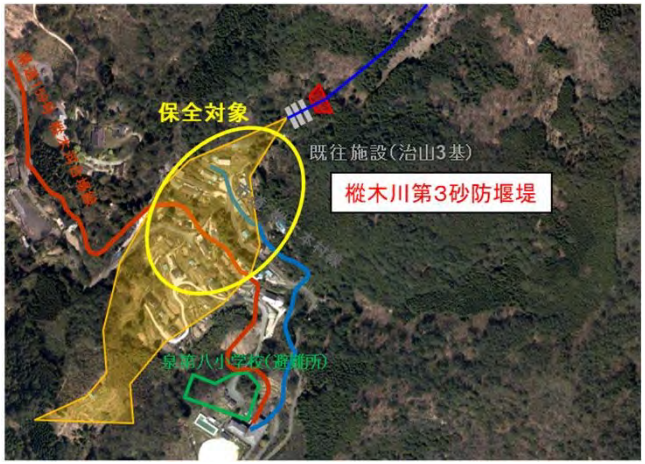
○土石流による直接的な土砂災害の防止や下流河川の河床上昇に伴う洪水被害の防止を図るため、砂防設備を整備中。

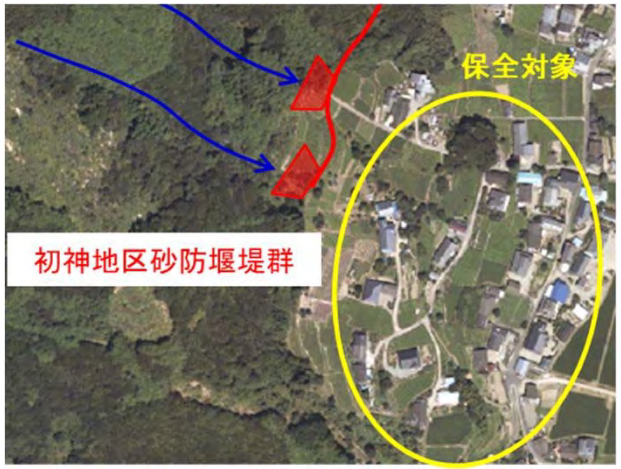


令和3年度
実施内容：砂防堰堤工　等

事業費：681百万円

：令和3年度実施





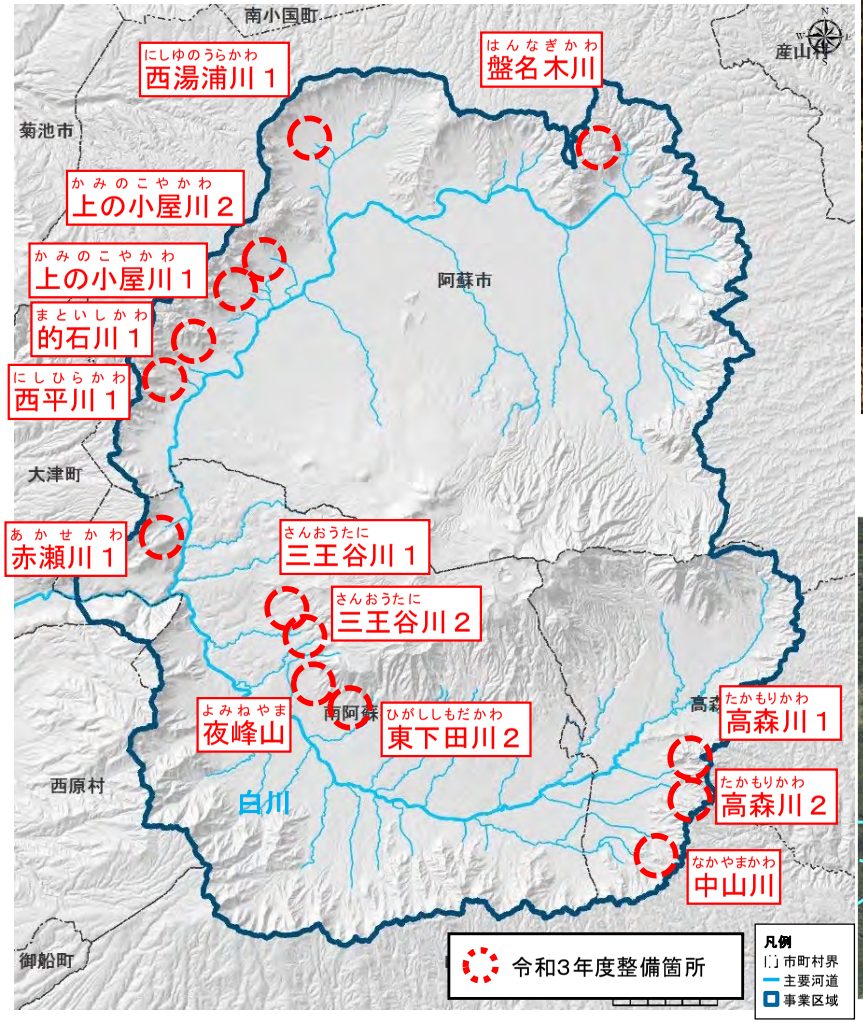
阿蘇山直轄砂防事業

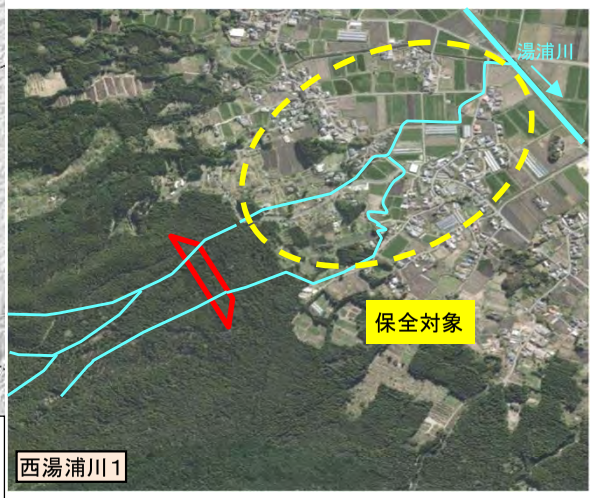
継続 | 河川－19

■阿蘇山直轄砂防事業（阿蘇市、南阿蘇村）
〇平成28年熊本地震とその後の降雨を踏まえ、土砂災害による被害を防止・軽減するため、阿蘇山（阿蘇カルデラ内）において、砂防堰堤等の整備を実施。

令和3年度
実施内容：砂防堰堤工 等

事業費：1,920百万円



土石流発生状況

地震後の土砂の流出状況